



うるわ

美しき魂

日置市立伊集院中学校学校便り

令和6年2月29日第10号

正しく、直く、潔き真の心

「プレッシャーに打ち勝ち、前に進むために」(白井一幸氏の講演から)

校長 田中 準章

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。残りの日々をどう過ごしますか。どう締めくくりますか。以前、私が勤めていた学校で、2月になって毎朝正門付近の掃除をはじめた男子生徒がいました。どうしたのか尋ねると、中学校への「恩返し」だと言うのです。第一希望だった私立高校への進学が決まり、3年間の充実した中学校生活への感謝の気持ちを朝掃除という形で表していました。あわせてまだこれから受験に立ち向かっていく仲間へのエールも込めて。仲間のために、後輩のために何ができるか…、考えて実行している、その心がうれしかったことを思い出します。

さて、先日WBC日本代表チームのヘッドコーチを務めた白井一幸氏の講演会が伊集院文化会館で開催されました。多くの日置市民が訪れていました。話す内容はとても面白くて1時間があっという間でした。話の主な内容を紹介します。

○ 最高のチームが最強のチーム（世界一）へ

最高のチームとは…①チームのすべての人がゴール（目的）を共有している。

②全員が自分の役割を理解し、全うする。

③ゴールに焦点を当て、メンバーとお互い関わり合う。

最高のチームは他のチームに関係なく、勝敗に関係なく、メンバー全員の心がけでつくることができます。侍ジャパンはまさに最高のチームでした。最高のチームが、世界一となって最強のチームになったのです。



(Full Count HPより)

○ 目的と目標を明確に（目標の先には目的がある。）

目標は…「世界一になること。」

目的は…「侍ジャパンは野球界の頂点であり、勝ち負けに関係なく、夢や元気、勇気、感動を与えるプレーをして、次世代に野球の楽しさを伝えること。」

目標だけでは、プレッシャーを強く感じてしまいますし、終わった時に「燃え尽き症候群」に陥ってしまいます。目標は目的を達成するための道しるべです。目的が明確で全員で共有していると、結果にこだわらず明るく前向きにプレーできるのだそうです。今回の侍ジャパンの明るさはそのことを示しています。

○ 感動（人の心を動かす）のために全力プレー（凡事徹底）

感動のためには全力プレーが大切だとみな分かっていますが、中国戦やチェコ戦では心に隙があったと言います。その空気を変えたのがヌートバー選手の中国戦第2打席、ファーストゴロを全力疾走して出塁したこと（このプレーが試合の流れを変えた）と、プロではないチェコの選手が心の底から一生懸命で全力プレーしている姿に心を打たれ、そこから日本選手は目覚めて真のサムライになったとのことでした。日本チームは相手のチェコチームの健闘を心からの拍手で称えていました。愚直に全力で取り組む人に勝る人はいないと白井さんは言っています。凡事徹底です。

○ 「信じて、任せて、感謝する」（栗山英樹監督）

準決勝のメキシコ戦では、調子の上からない村上選手を最後まで使い、逆転サヨナラヒットを導き出したシーンは忘れられません。その前の打席で村上選手が三振したとき、栗山監督は「すごい勇気を持ってフルスイングしてくれた。ありがとう。」と三振にも感謝したそうです。栗山監督からはプラスの言葉しか出てこないと言っていました。選手は頑張るはずですね。

○ カメはなぜウサギに勝ったのか。

カメは相手を見ず、自分の目標に向かってただひたすら脇見もせず歩み続けました。ウサギはゴールを見ずに、カメばかり見ていました。大切なのは、ゴールに向かって、愚直に今やれることを全力です、ということです。「美しき一瞬が、美しき一生を築く」ですね。

○ になりたい自分に向かって自分で考えて行動する。

目的を明確にして、そこに向かって、自分で考え、決めて、行動することが大切です。キャプテンを決めなかったのは、人に頼るのではなく、自分で考えて行動するためです。みんなが主役なんです。そして自分を信じ仲間を信じ、結果を信じることです。

「プレッシャーに打ち勝ち、前に進むために」…、多くの示唆をいただきました。

美しき魂の足跡～入賞おめでとう～

- 【男子バレーボール部】第20回いぶすき菜の花旗争奪中学生選抜バレーボール男子大会 準優勝
- 【女子バレーボール部】第9回山崎杯中学校女子バレーボール大会敢闘賞（2位リーグ1位）
- 【女子ソフトテニス部】第10回スポーツタニヤマチャレンジカップ 個人優勝
令和5年度ランキング7位
- 【南九州美術展】 書道の部 日置市教育委員会賞1名 特選1名 入選3名
美術作品の部 入選2名



令和5年度鹿児島学習定着度調査の結果について(現段階の速報値より)

1月16日から、1・2年生は鹿児島学習定着度調査が行われました。この調査は、身に付けてほしい学力が付いているかを調査する目的で行われており、目標は、通過率（正答率）70%を超えることとされています。

本校の結果については右の通りです。1年生は、国語は県平均並み、英語は県平均を超えましたが、社会・数学・理科が県平均を下回る結果となりました。2年生においては、全教科県平均を上回ることができました。

本校では結果を分析し、今後の指導法について全職員で研修を行いました。通過率の低かった分野については、今後補充学習を行い、確実に定着を図って参ります。

		国語	社会	数学	理科	英語
1年	本校平均	75.7	48.4	72.2	63.8	78.2
	県平均	76.2	54.4	74.3	66.3	77.0
	県比	-0.5	-6.0	-2.1	-2.5	1.2
2年	本校平均	70.4	65.6	73.5	77.0	75.0
	県平均	65.6	62.4	68.7	66.8	71.3
	県比	4.8	3.2	4.8	10.2	3.7

※ 数値については現段階の速報値となります。最終的には、3月の県の報告書に記載される数値となります。

入学説明会を開催しました

1月31日(水)に令和6年度入学予定者を対象とした、入学説明会を開催しました。今年も生徒会役員の生徒が、6年生の不安を少しでも解消することができればと、自分たちで企画・作成した学校紹介動画や学校クイズなどで、中学校生活について説明を行いました。生徒会役員の生徒がとても頼もしく見えました。4月に新入生が入学してくるのが楽しみです！



立志記念講演を開催～2年生～

2月14日(水)に2年生で、LR株式会社代表取締役の末永祐馬さんを講師にお招きし、立志記念講演を開催しました。「未来は自分で作る～リーダーではなかった私がやってきたこと～」と題した講演は、生徒に様々な示唆を与えてくださるお話でした。本当にありがとうございました。



転出・転入についての情報提供について【お願い】

本校の来年度の学級数を決定するため、生徒数を正確に把握する必要があります。そのために、生徒の転出入の情報提供をお願いします。

生徒の他校への転出、また他校から本校への転入の情報がありましたら、すみやかに担任もしくは教頭まで御連絡ください。

3月の主な行事

4 (月)	PTA執行部会・評議員会 (19:00～)
5 (火)	公立高校入学者選抜試験 (～6日)
6 (水)	クラスマッチ (1年)
7 (木)	クラスマッチ (2年)
8 (金)	クラスマッチ (3年)
11 (月)	命ふれ合い教室 (3年生, 2・3校時)
12 (火)	同窓会入会式 (3年) 卒業式予行 (2・3年)
13 (水)	卒業式準備 (1・2年)
14 (木)	第77回卒業式 (2・3年)
18 (月)	公立入試合格発表
20 (水)	特別支援学級授業参観・説明会
22 (金)	生徒会専門部会・代議員会
25 (月)	春分の日
27 (水)	修了式 (1・2年)・辞任式 (全学年)
	PTA送別会 (18:30～ゆすいん)

